

# みえ 三重県議会新聞

平成29年度(2017年度)NO.2 (発行 三重県議会広聴広報会議) (企画・制作 伊勢新聞社)

## 10大ニュースに見る議会の1年

平成29年三重県議会の活動

12月22日の議長定例記者会見で、県民の皆さんと議員で選んだ「平成29年三重県議会10大ニュース」を発表しました。これに基づいて、三重県議会の基本取組とともに1年間の活動内容を紹介します。

### 開かれた議会運営の実現

#### 2月 議長定例記者会見における手話通訳の導入

平成28年6月に議員提出条例である「三重県手話言語条例」が成立したことを踏まえ、県議会としても、ろう者が県議会情報を円滑に取得できるような取り組みを進めています。その一環として、2月から都道府県議会としては初めて議長定例記者会見に手話通訳を導入しました。



手話通訳を導入した議長定例記者会見の様子

#### 9月 議会中継への手話通訳導入の方針を決定

平成28年6月に議員提出条例である「三重県手話言語条例」が成立し、手話による情報発信等に積極的に取り組む必要があること、また、県民を対象としたアンケート調査で、議会中継への手話通訳導入に肯定的な回答が多かったことなどを踏まえ、来年度から代表質問及び予算決算常任委員会総括質疑の中継に手話通訳を導入する方針を決定しました。



手話通訳を導入した議会中継のイメージ

### 住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進

#### 3月 「子どもの貧困対策調査特別委員会」の委員長報告及び知事への提言

3月21日に行われた最終の委員長報告では、県当局に対して、中長期的な視点も含めた子どもの貧困対策について提案・要望を行いました。また、3月24日には、子どもたちが社会から孤立することなく安心して過ごせる居場所モデル事業の構築、児童養護施設退所後等の子どもたちの自立支援、市町等関係機関との一層の連携、支援が必要な家庭への積極的な情報提供等について知事に提言を行いました。



委員長報告の様子

#### 5月 「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」を設置

委員会では、障がい者差別解消条例の策定に向け、障がい者を取り巻く現状や差別の解消の取り組みを進める上での課題などについて、関係者からの意見聴取も行いながら、調査を行っていくこととし、県内調査や県外調査、参考人招致を実施するなどの活動を続けています。



県外調査の様子

#### 5月 「働き方改革調査特別委員会」を設置

委員会では、県内労働者の働き方の実態や課題を把握し、働き方改革の実現に向けた具体的な方策や行政の果たす役割などについて調査を行っていくこととし、県内調査や県外調査、参考人招致を実施するなど活動を続けています。



参考人招致の様子

### 独自の政策提言と政策立案の強化

#### 8月 「平和のつどい」に協力

今年、県議会が「非核平和県宣言」を決議してから20年目の節目の年にあたります。このことを踏まえ、三重から平和を発信するとともに、県内の若い世代が被爆地の若者との交流などを通じて戦争の悲惨性に触れ、平和への想いをより一層深める機会とするため三重県主催で開催された「平和のつどい」に協力し、県議会が行っている平和への取り組みなどを紹介しました。



「平和のつどい」で平和の取組を紹介している様子

#### 9月 「北朝鮮の地下核実験及び弾道ミサイルの発射に抗議する決議」を全会一致で可決

県議会では、北朝鮮の地下核実験実施の発表及び弾道ミサイルが北海道の上空を通過したことに対し、「北朝鮮の地下核実験及び弾道ミサイルの発射に抗議する決議」を全会一致で可決しました。この決議では、北朝鮮に対し、厳重に抗議し、断固として非難するとともに、国連安全保障理事会の決議を遵守し、全ての核兵器及び既存の核計画の放棄を求める六者会合の共同声明の完全実施及び弾道ミサイルの発射等の挑発行動の自制を改めて強く求めました。



本会議での採決の様子

### 政務活動費及び議員の定数・選挙区

#### 4月 政務活動費を減額

議会経費縮減のため、「三重県政務活動費の交付に関する条例」の一部を改正し、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に交付される政務活動費を、条例本則に規定する額から20%特例的に減額しています。



本会議で議案説明の様子

#### 7月 政務活動費にかかる領収書等のインターネット公開

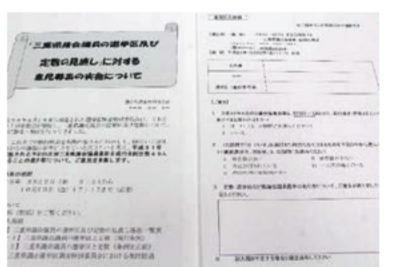
政務活動費の透明性をより一層高めるため、県議会ホームページで従来から公開している収支報告状況に加え、平成28年度分から領収書等もホームページで公開しています。



領収書等をパソコンで見ているイメージ

#### 9月 県議会議員の選挙区及び定数について意見募集

選挙区調査特別委員会では、これまでの検討経過を県民の皆さんにお示しするとともに、幅広いご意見等をお聞きし、これからの議論の参考とするため、意見募集(9月22日～10月20日)を行いました。



意見記入用紙

#### (参考) 10大ニュース部門別 投票結果

県民の皆さんや議員で得票数が多かったのは次の項目でした。

eモニター*	ホームページ閲覧者・議会傍聴者	議員
1位 政務活動費にかかる領収書等のインターネット公開	1位 政務活動費にかかる領収書等のインターネット公開	1位 議会中継への手話通訳導入の方針を決定
2位 政務活動費を減額	2位 議長定例記者会見における手話通訳の導入	2位 「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」を設置
3位 「北朝鮮の地下核実験及び弾道ミサイルの発射に抗議する決議」を全会一致で可決	3位 県議会議員の選挙区及び定数について意見募集	3位 「子どもの貧困対策調査特別委員会」の委員長報告及び知事への提言 政務活動費にかかる領収書等のインターネット公開

\*eモニター：インターネットを使った県全体の広聴システムで約1,178人が登録

#### 議長・副議長 ごあいさつ



議長 舟橋 裕幸



副議長 水谷 隆

県民の皆さまには、日頃から県議会の運営につきましてご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度も三重県議会は、二元代表制のもと、県民福祉の向上と県政の進展に資するため、さまざまな取り組みを進めてまいりました。

特に、本年5月には、障がい者差別の解消に向け、「障がい者差別解消条例策定調査特別委員会」を設置するとともに、近年全国的な課題となっている働き方改革の実現に向け、「働き方改革調査特別委員会」を設置し、これらの課題に対して精力的に調査を行っています。

また、今年、三重県議会が「非核平和県宣言」を決議してから20年の節目の年であることを踏まえ、三重県主催で行われた「平和のつどい」に対し三重県議会として協力を行いました。

さらに、議長定例記者会見における手話通訳の導入および「みえ現場de県議会」をはじめとするさまざまな広聴広報活動にも積極的に取り組んでいるところです。

今後とも三重県議会といたしましては、議会改革を一層推進しながら、県民福祉の向上と県政の進展に努めてまいりますので、県民の皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。